

# 火災件数及び損害額の推移

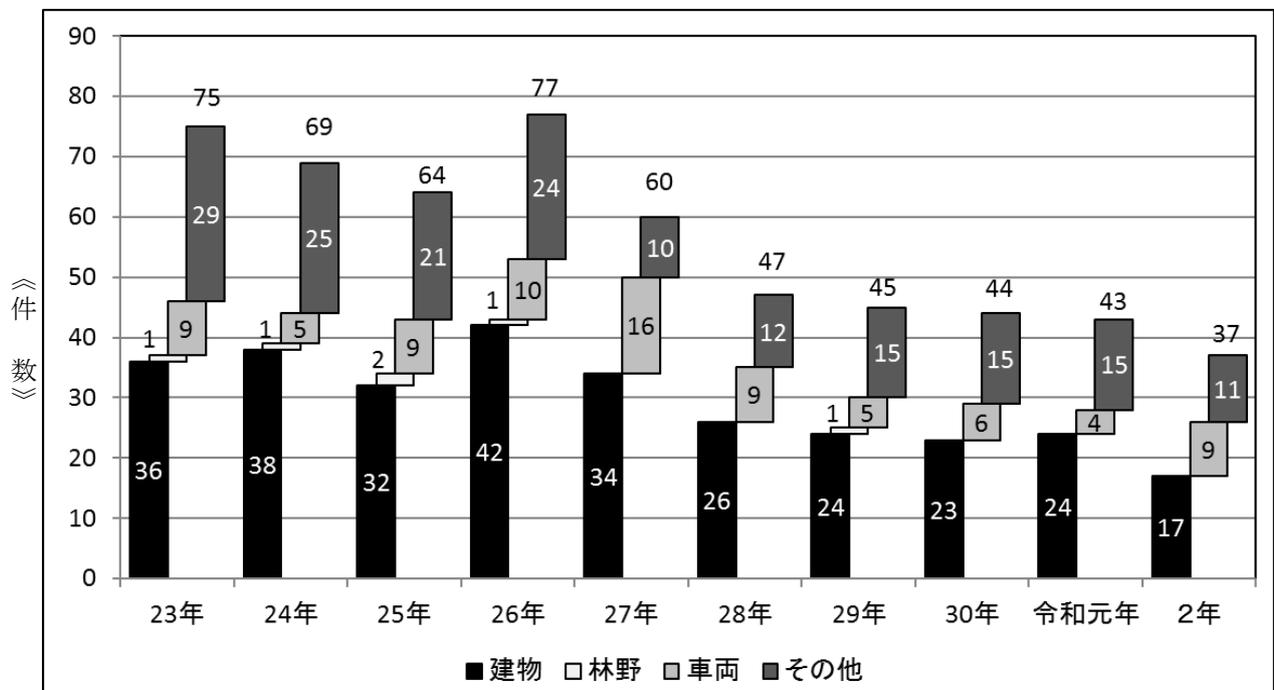
(平成23年～令和2年)

区分 年別	火災件数 (件)	火災件数内訳				損害額 (千円)	死者		負傷者
		建物	林野	車両	その他		48時間	30日	
平成23年	75	36	1	9	29	299,765	2		8
24年	69	38	1	5	25	215,297	3	1	19
25年	64	32	2	9	21	150,030			27
26年	77	42	1	10	24	92,836			17
27年	60	34		16	10	71,777	3		12
28年	47	26		9	12	20,325			8
29年	45	24	1	5	15	108,131	2		7
30年	44	23		6	15	795,661	1		6
令和元年	43	24		4	15	26,265	1		10
2年	37	17		9	11	83,167	3		7

※30日死者とは火災に起因する原因により、48時間を経過して30日以内に亡くなった方。  
負傷者に30日死者含む。

# 火災種別と推移

(平成23年～令和2年)



《年 別》

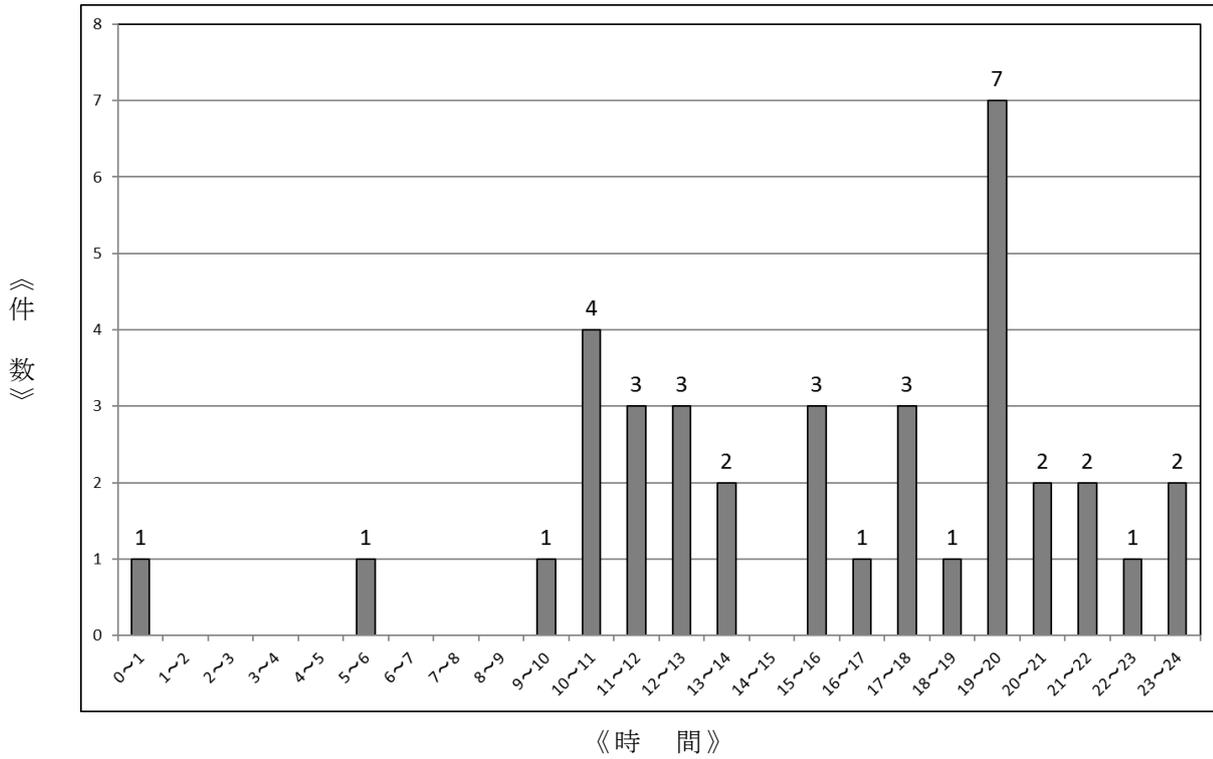
# 月別火災状況

(令和2年中)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
出火件数	建物	3	1	1	2	1		1	1	2	2		3	17
	林野													
	車両			1	1		1	1				3	2	9
	船舶													
	航空機													
	その他				1		1	1	2		1	2	3	11
	計	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>5</b>	<b>8</b>	<b>37</b>
焼損棟数	全焼	2									1		1	4
	半焼					1		1					1	3
	部分焼				1	1			1	1	1			5
	ぼや	1	1	1	1					1			1	6
	計	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>2</b>		<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>2</b>		<b>3</b>	<b>18</b>
焼損面積	建物床面積(m <sup>2</sup> )	252				17		59	7		78		192	605
	建物表面積(m <sup>2</sup> )	7			16	2				1	52			78
	林野(a)													
死者負傷者	死者(48h)	1											2	3
	死者(30日)													
	負傷者	3	1						1		1		1	7
り災世帯数	全損	2						2			1		2	7
	半損							1						1
	小損				2			1	1	1			3	8
	計	<b>2</b>			<b>2</b>			<b>4</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>		<b>5</b>	<b>16</b>
り災人員	5			7			4	1	3	1		10	31	
損害額(単位:千円)	建物	6,094	6	115	160	1,336		6,709	294	40	29,699		11,943	56,396
	林野													
	車両			24,069			704	32				880	1,086	26,771
	船舶													
	航空機													
	その他(爆発を含む)													
	計	<b>6,094</b>	<b>6</b>	<b>24,184</b>	<b>160</b>	<b>1,336</b>	<b>704</b>	<b>6,741</b>	<b>294</b>	<b>40</b>	<b>29,699</b>	<b>880</b>	<b>13,029</b>	<b>83,167</b>

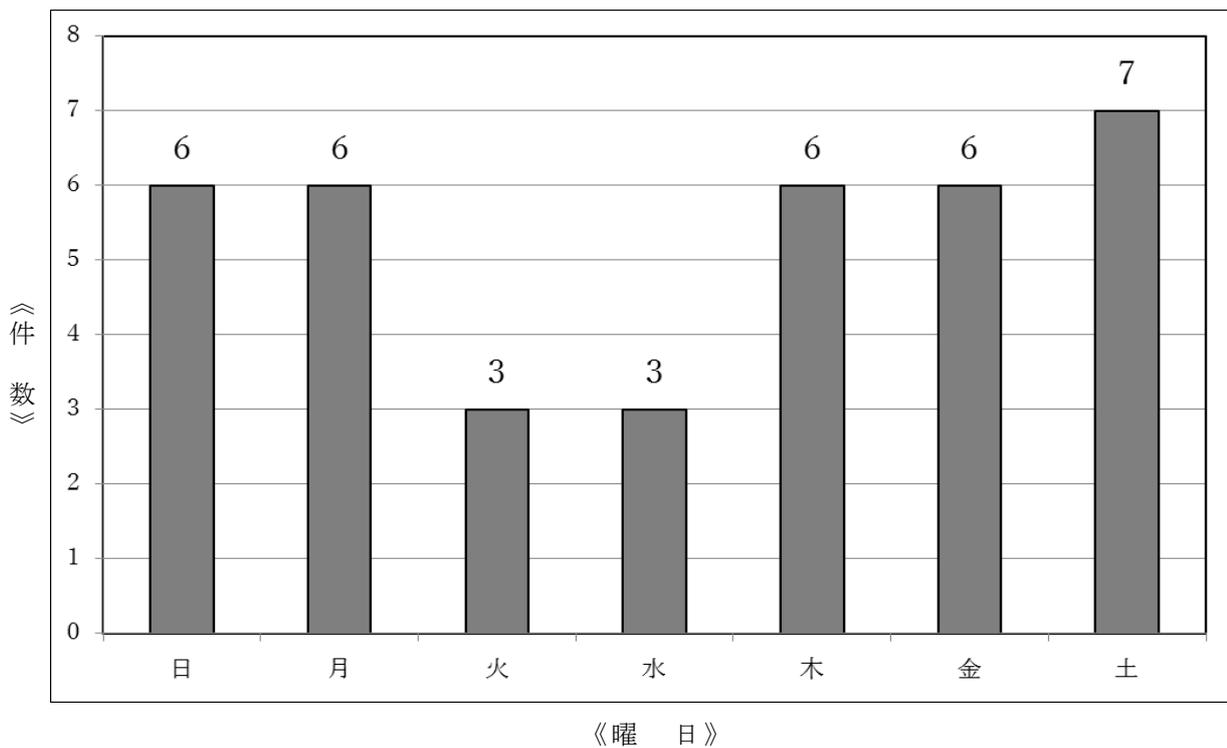
# 時間別出火件数

(令和2年中)



# 曜日別出火件数

(令和2年中)



# 火元建物用途別火災状況

(令和2年中)

建物用途	出火件数	焼損棟数					焼損面積		死者負傷者		り災世帯数				り災人員	損害額 (千円)
		計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	床面積 (㎡)	表面積 (㎡)	死者	負傷者	計	全損	半損	小損		
合計	17	18	4	3	5	6	605	78	2	7	16	7	1	8	31	56,396
住宅	8	8	4		2	2	451	23	2	5	9	4		5	22	21,119
共同住宅	2	2		1		1	59				5	2	1	2	7	6,719
飲食店																
物品販売店舗																
工場	5	5			2	3		53		2						24,605
倉庫	1	2		1	1		17	2								1,336
事務所																
複合用途 (特定)	1	1		1			78				2	1		1	2	2,617
その他																

# 覚知方法別出火件数

(令和2年中)

総数	火災報知 専用電話 (固定電話)	火災報知 専用電話 (携帯電話)	加入電話	駆け付け 通報	事後聞知	その他
37	8	22	2		4	1

# 出火原因別損害額状況

(令和2年中)

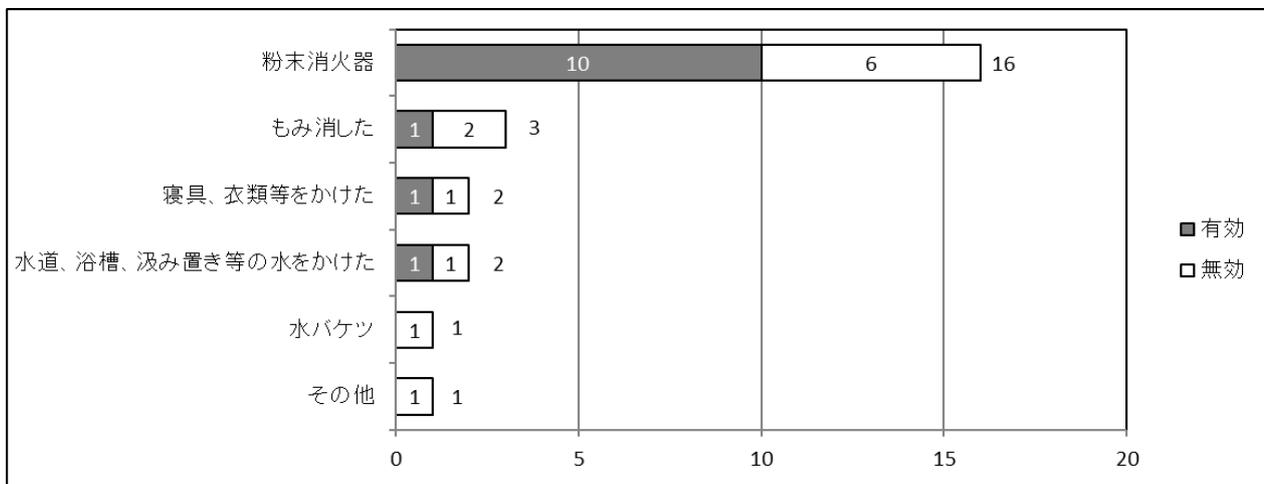
	建物		車両	林野	その他	計	損害額 (千円)
	住宅						
こんろ	4	3				4	8,686
たばこ	1	1			2	3	1,561
電気機器	3	2				3	434
排気管			2			2	1,232
放火	1	1			1	2	90
ストーブ	1	1				1	4,463
電気装置	1					1	115
電灯・電話等の配線	1	1				1	8,582
配線器具	1					1	30
火あそび					1	1	
マッチ・ライター					1	1	
たき火	1					1	6
溶接機・切断機					1	1	
灯火	1	1				1	6,709
火入れ					1	1	
その他	1		6		3	10	49,643
不明	1		1		1	3	1,616
計	17	10	9		11	37	83,167

※住宅に併用住宅及び共同住宅を含む。

# 初期消火の実施状況

火災件数37件のうち、初期消火が行われた火災は25件ありましたが、そのうち初期消火の対応方法として、最も多かったのが「粉末消火器」の16件で、全体の64%を占めています。

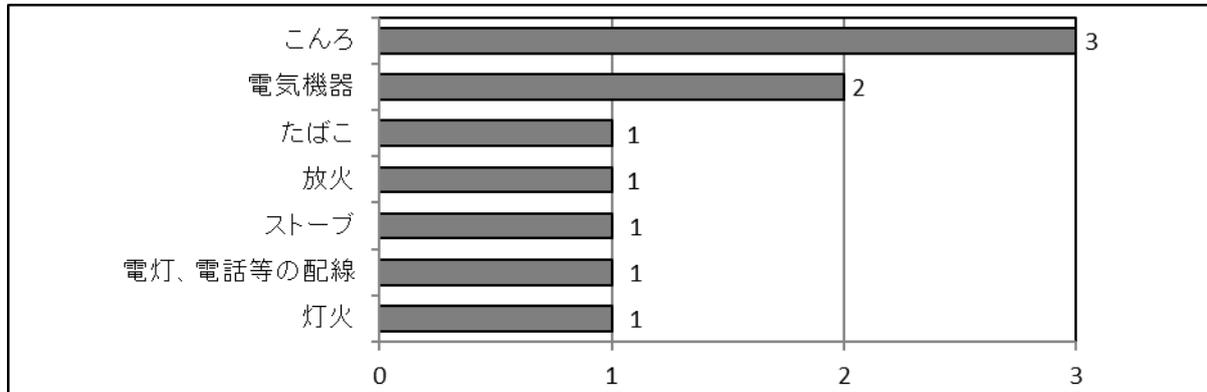
(令和2年中)



## 住宅火災における出火原因

住宅火災（住宅、併用住宅及び共同住宅）10件の出火原因をみますと、「こんろ」が3件、「電気機器」が2件、「たばこ」、「放火」、「ストーブ」、「電灯、電話等の配線」、「灯火」がいずれも1件となっています。

（令和2年中）



## 住宅用火災警報器の設置状況

住戸外や住宅に付随する物置等からの出火を除いた住宅火災10件のうち、住宅用火災警報器を設置していなかった住宅等は5件で、死者及び負傷者が計6人となっています。

住宅用火災警報器を設置していた住宅では、負傷者は1名ですが死者は発生しておらず、設置していなかった住宅と比較して損害額が抑えられています。

（令和2年中）

	住宅用火災警報器								自動火災報知設備		
	設置	損害額	死者	負傷者	未設置	損害額	死者	負傷者	損害額	死者	負傷者
住宅	3	5,475		1	5	15,644	2	4			
併用住宅											
共同住宅	1	6,709							1	10	
計	4	12,184		1	5	15,644	2	4	1	10	

（損害額単位：千円）

## 警戒・その他災害出動件数

(平成 28 年～令和 2 年)

種別 年別	ガス漏れ	化学物質漏洩	漏油	機器発報	燃焼放置	危険排除	怪煙調査	異臭調査	風水害等調査	警戒	捜索	誤報	虚報	特別警戒	救急支援	その他	合計
28 年	3		46	64	7		31	4		10	3	14	2		1,879	18	2,081
29 年	7		67	81	11		44	1	10	14	2	6			2,104	13	2,360
30 年	3		70	101	9		45			10		9			2,177	19	2,443
令和元年	3		56	87	12	1	48	1		10		14	1		2,109	13	2,355
令和 2 年	4		52	77	15	1	33	3		9		12	2		1,806	24	2,038

## 救急支援の活動別件数

(平成 28 年～令和 2 年)

活動別 年別	搬送支援	高速道路支援	交通支援	警戒救急支援	応急手当支援	その他支援	合計
28 年	1,636	14	98	3	117	11	1,879
29 年	1,894	12	81	9	96	12	2,104
30 年	1,975	20	59	3	112	8	2,177
令和元年	1,935	16	60	9	84	5	2,109
令和 2 年	1,680	7	45	3	59	12	1,806